

あれからもうすぐ6年。
三陸の自然はどうなっているだろう。

テーマ展

大津波と 三陸の生き物

広田半島黒崎より南方をのぞむ
(陸前高田市2012年10月)

平成28年**12月17日**(土)～平成29年**2月26日**(日)

岩手県立博物館 特別展示室 9:30-16:30 (入館は16:00まで)

主催 岩手県立博物館・(公財)岩手県文化振興事業団

スナピキソウの花を訪れるヘニシジミ
(宮古市2015年5月)

■入館料

一般310円(140円)
学生140円(70円)
高校生以下無料。
()内は20名以上の
団体料金。
療育手帳、身体障害
者手帳、精神障害者
保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付
き添いの方は無料です。

■休館日

月曜日(月曜が休日
の場合は開館し翌平
日休館)
年末年始の休館は12
月29日～1月3日



〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34番地 岩手県立博物館
電話019-661-2831 FAX 019-665-1214 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>
後援 日本生態学会東北地区会・岩手生態学ネットワーク

テーマ展 大津波と三陸の生き物

主催 岩手県立博物館・(公財)岩手県文化振興事業団

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれに続く津波は、人間社会のみならず、生態系にも大きな変化をもたらしました。その影響は今も続いています。

大津波が起きる前、三陸の海辺にはどんな生き物がいたのでしょうか。大津波によってどんな影響を受け、今はどうなっているのでしょうか。

この展覧会では、あの日を境に大きく変化した三陸の生き物と風景を追いかけます。海底や干潟、砂浜や磯、河川や湿地にすむ様々な生き物にスポットを当て、調査によって明らかになった生態系の驚くべき回復力とその仕組み、さらに復興工事の影響や保全の取り組みを紹介します。

■ 県博日曜講座 ■

- 平成28年12月25日(日) 13:30-15:00
「繰り返し訪れる津波と三陸の自然」
鈴木まほろ(当館学芸員)
 - 平成29年1月8日(日) 13:30-15:00
「大津波と三陸の海と河口の動物たち」
松政正俊氏(岩手医科大学教授)
 - 平成29年1月22日(日) 13:30-15:00
「岩手県の砂浜の現状と海浜植物の保全対策」
島田直明氏(岩手県立大学准教授)
- 岩手県立博物館講堂 聴講無料

■ 展示解説会 ■

担当学芸員が展示のみどころを解説します

平成28年12月18日(日)

平成29年 1月9日(月・祝) 1月15日(日) 1月28日(土)

2月5日(日) 2月11日(土・祝) 2月25日(土)

時間: 14:45~15:30

場所: 岩手県立博物館 特別展示室 ※入館料が必要です

回復したアマモ場に群れるウミタナゴの幼魚
(越喜来湾2016年7月・片寄剛氏撮影)

■ 交通アクセス ■

- お車をご利用の場合
東北自動車道盛岡インターで降りて国道46号線を東へ、市営体育館前交差点を左折北上。20分前後。
- 路線バスをご利用の場合
盛岡駅前のりば11番、または盛岡バスセンター12番をなるべく前発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗車、「松園バスターミナル」下車(乗車時間は約30分)。「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車。「松園バスターミナル」から博物館までは徒歩約20分です。



公益財団法人岩手県文化振興事業団

岩手県立博物館